

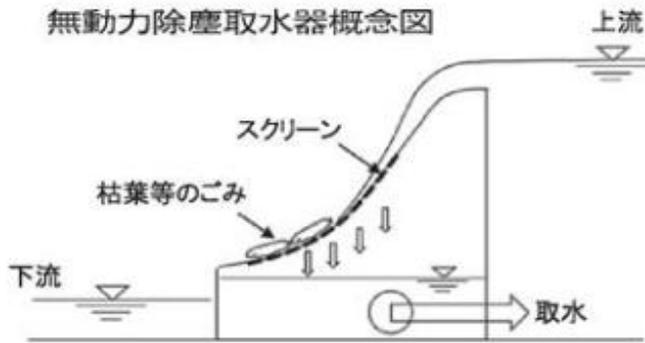
大成ロテック 中小水力発電へ参入 取水器に自己除塵機能

大成ロテックは、再生可能エネルギーである中小水力発電事業への参入を開始、2022年度以降をめどに発電所の設置を目指して事業候補地の調査を進めている。道路建設業界では初めての取り組みで、河川から水流を引き込み発電する仕組みを採用。取水

部分に枯れ葉などの河川浮遊物が付着し、目詰まりを起こしてしまふ課題を解決するため、新たに自己除塵機能を持つ取水器も開発した。

開発した取水器は、粘性流体の噴流が近くの物体の表面に引き寄せられる「コアンダ効果」を利用することで、河川水を取水しながら無動力での除塵を可能とした。大成建設技術センターの大型2次元水槽で実施した実機での実証実験では、良好な除塵機能と取水機能を確認している。

同社は、カーボンニュートラル化を目指して4月に「環境エネルギー部」を立ち上げ、っており、現在同部を中心に、22年度以降の発電所設置を目標として、北陸、東北、関東など20力所以上で事業候補地の調査を進めている。



無動力除塵取水器概念図